

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	農業振興事業（有害鳥獣対策業務）			事業番号	015-036
担当部署名	産業振興	局	農政	部	農水産 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ~Attractive~	施策	(7) 次世代につなげる農業の促進	
			有	取組の方向性	②持続可能な農業振興			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(2)飢餓をゼロに	ターゲット	2.3,2.4	
			有	取組	農業経営の基盤強化、スマート農業の推進			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画	第3期大阪府アライグマ防除実施計画、大阪府イノシシ第二種鳥獣管理計画（第3期）						
3	事業開始年度	平成 16 年度		点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)							

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	堺市					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	農業者（農家戸数2,172 2020年農林業センサス）					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	有害鳥獣対策を行うことで、農作物被害の発生を防止し、市内農業生産量の確保、農地の保全を図るとともに、農業者の安全に資する。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	・アライグマについては、大阪府アライグマ対策連絡協議会に参加し、大阪府アライグマ防除実施計画に基づき防除に取り組んでおり、農業者への捕獲檻の貸出し、捕獲奨励金の交付、対応業務を（一社）大阪府ベストコントロール協会に委託している。					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	・イノシシについては、（公社）大阪府猟友会への捕獲業務の委託、農業者の行う有害鳥獣による被害防止設備の整備に対する補助を実施している。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	（一社）大阪府ベストコントロール協会、（公社）大阪府猟友会					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 農作物被害に係るアライグマ・イノシシの捕獲頭数（業務委託以外の捕獲頭数を含む）	頭	目標値	235	230	225		
		実績値	189	194			
		達成率	80%	84%			
		当該指標を選定した理由	アライグマ及びイノシシが農地に被害をもたらす主要原因であるため				
目標値の設定根拠・算出方法	業務委託契約時の想定捕獲頭数（アライグマ）過去3年度分の捕獲数の平均（イノシシ）の合算						
12 活動指標(成果を上げるための手段) アライグマ捕獲器貸出の延べ件数とイノシシ捕獲器設置数	基	目標値	199	183	199		
		実績値	173	188			
		達成率	87%	103%			
		当該指標を選定した理由	第4期大阪府アライグマ防除実施計画に基づき、捕獲圧を高めるために、捕獲機貸出と捕獲器設置を増設することが妥当であるため。				
目標値の設定根拠・算出方法	前年実績値に10%を上乗せしたもの						

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	農業振興事業（有害鳥獣対策業務）	事業番号	015-036
-------	------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト		(単位：千円)			
項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	6,515	6,276	8,224	7,059	8,174
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	6,515	6,276	8,224	7,059	8,174
14 人件費 (b)	2,460	2,430	2,460	2,460	2,460
15 年間経費(c)=(a)+(b)	8,975	8,706	10,684	9,519	10,634

事業費の内訳		(単位：千円)							
項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源		
								R2	決算
16 事業費内訳	報償費	R2	292	292	備品購入費（冷蔵庫更新） （環境共生課との折半分計上）	R2	136	136	
		R3	350	350		R3	0	0	
	需用費	R2	398	398	委託料（冷蔵庫処分費） （環境共生課との折半分計上）	R2	36	36	
		R3	700	700		R3	0	0	
	修繕料	R2	0	0		R2			
		R3	45	45		R3			
委託料	R2	6,066	6,066		R2				
	R3	6,729	6,729		R3				
負担金、補助金及び交付金	R2	131	131		R2				
	R3	350	350		R3				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費		区分	単位	令和元年度	令和2年度
17	①	農作物被害に係るアライグマ・イノシシ捕獲頭数（業務委託以外の捕獲頭数を含む）	頭	189	194
	②	上記①にかかる年間経費	千円	5,209	6,066
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	27,561	31,268
備考（算出についての説明等）					

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	アライグマ及びイノシシ共に、業務委託による対応を行っている。またイノシシ捕獲罠の設置には免許が必要であり、また現状でコスト縮減につながる具体的な方法がないため、（公社）大阪府猟友会へ委託している。
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	アライグマ及びイノシシ共に継続して一定頭数の捕獲が行われている。両者ともに繁殖力が強く都市部では天敵が存在せず、生息数は増加傾向にあると考えられるため、引き続き捕獲業務を行っていくことで農作物被害が拡大するのを防ぐ必要がある。 有害鳥獣の生息数の減少のためには、今後も引き続き、イノシシの捕獲業務を行うとともに、アライグマ捕獲器の保有数を増やし、農業従事者による自衛の重要性を J A 堺市、J A 大阪南と協力して啓発し、捕獲檻を設置する農業従事者を増やす必要がある。